

BSIグループジャパン、みどり園のISO14001を認証

みどり園は4つ目の認証取得

BSIグループジャパン(株)、社会福祉法人祉徳会介護老人福祉施設みどりの園



認証式で、左が吉元理事長、右が竹尾社長

ISOの認証機関であるBSIグループジャパン(株)(東京都港区、竹尾直章社長)は、社会福祉法人祉徳会介護老人福祉

施設みどりの園(鹿児島県鹿屋市、吉元和浩理事長)へ、環境マネジメントシステムISO14001の認証を実施した。認証登録日は今年7月7日。

みどりの園では、既に取得している品質マネジメントシステムISO9001、苦情対応マネジメントシステムISO10002、学習マネジメントシステムISO29990に加え、さらなる組織の継続的な向上のため、ISO14001を導

入・構築し、認証を取得した。みどりの園の吉元理事長は「既に取得した複合マネジメントシステムに

よって、施設をご利用される利用者とそのご家族をはじめとした利害関係者及び職員の満足を継続して向上するためにISO14001をとり入れることにより環境活動を推進するだけでなく、サービス全体のプロセスを見直すことで業務の効率化、合理化を図る

ところまで視野に入れたシステムづくりを進め、健全な経営を行える基盤をつくることも、さら

なるサービスの質の向上を図りたいと考え、取り組むこととした」と、取得の目的について述べている。

またISO14001の構築・認証取得作業を通じて感じたこととして「各部署から選出したメンバーで構成したワーキンググループによる

ボトムアップ体制で、法人の現在抱えている、または潜んでいる問題点・改善点を顕在化し、当法人における環境マネジメントシステムを構築したことで、全スタッフの環境改善への意欲が高まってきたと考えている。また何よりも、環境の視点からシステムを考えるこ

とが、品質の向上を考えることにも繋がりが、結果として全スタッフの顧客満足向上への意識も高まったと実感している。さらに、プロセスごとに環境影響評価を実施することで、環境だけでなく品質面についてのリスク評価の強化にも繋がった」とその成果を述べている。

認証を行ったBSIグループジャパンに対しては「品質、苦情対応、学習、環境、食品安全、情報セキュリティ等、多岐にわたってISOの規格に精通しており、審査を通じて様々な点で、また幅広い分野で付加価値を提供して頂いた」と、謝意を述べている。